

ほのぼの通信 第12号

2021年 12月 15日 発行

訪問看護ステーションかしわら

電話：072-970-2171

FAX：072-970-2172



柏原市社協イメージキャラクター
「ほのぼのちゃん」

我が国において、新型コロナウイルス感染症の最初の感染者が確認されてから、もうすぐ2年目を迎えます。今年は延期されていたオリンピックも開催されました。感染者が急増したことで、医療体制がひっ迫し、先が見えなくて不安な時期もありました。

最近では、ワクチンの接種率も上がり、感染者は減少傾向となり、収束の兆しも見えてきました。しかし、新たな変異株の出現や再拡大の懸念が広まっており、引き続き、基本的な感染対策を徹底し、第6波に備えたいものです。



「高齢者の人工肛門（ストーマ）」について勉強会を行いました。

訪問看護では、年に2回勉強会を行っています。今回は訪問看護スタッフ、ケアマネジャー、ヘルパー含め、9名の参加でした。



高齢者の人工肛門（ストーマ）について

訪問看護の事例を通して、訪問看護、ヘルパー、デイサービス、ケアマネジャー等、関わるサービスがどのような連携をとるのか、学びを深めることができました。加えて、訪問の時に感じることや、疑問に思うことなど、多職種で意見交換しました。

ストーマケアとは、生活と密着しているものです。特に退院後は一番、不安を感じやすい時期であり、相談できる体制を整えておくことはとても大事なことです。私たち訪問看護もヘルパー、デイサービス、ケアマネジャー、地域連携室等と関わる方々と一緒に、ご本人がその人らしい生活を送れるようサポートをしていきたいと思っております。

令和3年11月 ご利用状況

	認定	人数
介護保険	介護	43
	支援	10
医療保険	医療	15



訪問看護・リハビリご希望の方は、担当ケアマネジャー（相談員）、訪問スタッフへご相談ください。

ほのぼの ワンポイントアドバイス！



アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）とは？

自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方の歪みや偏り」をいいます。アンコンシャス・バイアスは、その人の過去の経験や知識、価値観、信念をベースに認知や判断を自動的に行い、何気ない発言や行動として現れます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

- 血液型で相手の性格を想像してしまう
- お茶出しは女性がやるものと決まっている
- 定時で帰る人はやる気がないと思う
- お酒が飲めないと付き合いが悪いと思う
- 「普通は〇〇だ」「それって常識だろ」ということがよくある

このような言動をしていることはないでしょうか？

自分の先入観や思い込み、勝手な解釈で、無意識に発した言葉や態度が、否定的なメッセージとなり、相手を傷つけたりストレスを与えることがあります。アンコンシャス・バイアスは「思い込み」「きめつけ」「押しつけ」となり、周囲に悪影響を与えるのです。

いつでも、どこでも、誰にでも起こりうるものだからこそ、自分自身に「思い込み」や「きめつけ」がないか、自己認識を深めることが重要です。気づきのアンテナを立てることが、関係性をよりよく変えるためのスタートとなります。

例えば・・・

- ① エレベーターが定員オーバーとなりブザーがなりました。最後に乗り込んだ人はそれでも降りようとしません。でもこの方は特別に身勝手な方ではないのです。なぜでしょう？あなたならどう感じますか？ ⇒耳が聞こえない方や認知症の方、文化の違う国の方かもしれません。
- ② 脳卒中のあと、「すぐに歩けるようになった人は頑張った人」・「3年経っても歩けない人は頑張っていない人」ではないってことです！ ⇒原因・症状によって人それぞれです。

『年末年始の休業日について』

令和3年12月29日(水) ~ 令和4年1月3日(月)

- 看護師訪問についてはご相談の上、訪問が必要な方に対応させていただきます。
- 理学療法士訪問については、基本的にお休みとさせていただきます